

改善計画書

施設名 みどり自由学園

(担当者 伊藤 敬太郎)

(作成年月日 平成 23年 3月 2日作成)

(施設として特に優れていること やり続けること)	1	各グループごとにキッチンを整備し調理体験を通して、生活力の向上や料理を通じて入所児童への心のケアを行っている。						
	2	心理療法士による個別の心理療法を定期的実施している。						
	3	月に一回小学生、中学生、高校生に分かれて子ども会議を行い、施設の行事や日課に子ども達の意向を取り入れている。						
	4	処遇システムによるケース記録の管理、情報の共有化。(施設内は無線LANによるネットワークが構築されている)						
	5	定期的にショートステイを実施している。						
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
すぐできること	1	理念、基本方針の周知。	全職員、子ども達に周知する。	1年	H23.4.1	H24.3.31	理念、基本方針の説明会を行う。	施設長
	2	各種マニュアルの整備	全職員に配布、周知する。	1年	H23.4.1	H24.3.31	マニュアル委員会を立ち上げ、毎週協議しながら現場の意見を取り入れながら作成する。	マニュアル委員
	3	内部研修の実施	研修内容を全職員にフィードバックする。ケース発表を行い職員育成の場にする。	1年	H23.4.1	H24.3.31	研修内容によって発表する機会を設定する。新人職員は1年後にケース発表を行う。	研修担当
	4	子どもとの関係性の構築	子どもと長期的に関係を持てる体制の確立。	1年	H23.4.1	H24.3.31	横割りのグループ編成を行い、勤務時間を子どものニーズに沿った形にする。	指導員
	5							
工夫すればできること	1	子ども会議の内容の充実	子ども会議を行い、子ども自身が自主的な取り組みができる様にする。	1年	H23.4.1	H24.3.31	グループ別で子ども会議を行い、行事だけでなく日課等身近な問題も話し合える場を作る。	グループリーダー
	2	独立した中・長期計画がない。	中・長期計画の作成	1年	H23.4.1	H24.3.31	現在の施設の強み、弱みを分析して、中・長期計画を作成する。	施設長
	3	ボランティア受け入れ	施設のボランティアに対するニーズを明確にし、積極的に受け入れ連携を図る。	1年	H23.4.1	H24.3.31	ボランティア担当を明確にし、受け入れのマニュアルを作成する。	ボランティア担当
	4	意見箱の設置	意見箱を設置し子ども達の意見を取り入れる。	1年	H23.4.1	H24.3.31	鍵つきの意見箱を事務所に設置する。	指導員
	5							
予算化しないとできないこと	1	新館の個室整備	中高生のプライバシーを尊重し一人になる空間の確保。	1年	H23.4.1	H24.3.31	設計士と全職員で協議し可能な限り個室を検討する。	施設長
	2	新館2Fに風呂を設置	新館の2Fに風呂を設置。	1年	H23.4.1	H24.3.31	改修を検討する。	施設長
	3	心理室・保健室の設置	新館1Fに双方隣接して設置する。	2年	H23.4.1	H25.3.31	新館1Fの風呂の改装を検討する。	施設長
	4	親子訓練室	新館1Fに設置する。	2年	H23.4.1	H25.3.31	新館1Fの風呂の改装を検討する。	施設長
	5	職員ロッカー、休憩室の整備	勤務環境の整備	3年	H23.4.1	H26.3.31	新館改修後検討	施設長